

滋賀県長浜市 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2025

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 地方創生の実態や取組に興味のある学生におすすめ。
- 関係人口創出について、地域の実態を学びながら、議論して、プレゼンテーションにつなげます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

続編！コネクトリップル

～長浜市をフィールドに学生と地域が参加したくなるワークショップを考えよう～

長浜市は、人口減少と少子高齢化が進行する中、関係人口の創出を目的に、これまで様々な大学と連携してきました。しかし、プログラム終了後には関係が次第に薄れるという課題を抱えています。昨年度の早稲田大学地域連携ワークショップでは、地域と学生の継続的な関係を築く仕組みとして、地域と地域に関わりたい大学生をつなぐ「コネクトリップル」の提案があり、現在も昨年の参加学生と共に、「もう一度長浜にきたい」「また会いたい」と思える関係づくりのきっかけとなる新たなワークショップを検討しています。

そこで今回は、コネクトリップルの続編として、ヒアリング等を通じて地域の実態を学び、東京の大学生の視点から「長浜市をフィールドに、学生と地域が参加したくなるワークショップ」の内容を提案してください。

※コネクトリップルの詳細はこちら <https://connectripple.my.canva.site/>

長浜市の魅力

滋賀県の北東部に位置している長浜市は、古くから近畿・東海・北陸を結ぶ交通の要衝として発展してきました。琵琶湖や伊吹山系の山々などの豊かな自然に恵まれ、湖岸には水鳥が集い、四季折々の色

鮮やかな情景を楽しむことができます。また、戦国時代を偲ばせる賤ヶ岳・姉川の古戦場、長浜曳山祭りや観音文化など、数多くの多彩な歴史的・文化的資源を有しており、長浜市は「自然・歴史・文化の宝庫」とも呼べる魅力溢れるまちです。



募集概要

実施日程	2026年2月19日（木）から2月22日（日） 3泊4日
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2025年10月21日（火）～11月3日（月） 23：59 [厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出、②現地3泊4日の全日程に参加（途中参加・早退不可）、③終了後、期限内にレポート提出。 以上、3点を確約できる者。
募集人数	15名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加（最終日の成果報告会でチームによるプレゼンテーション） ③ 終了後に、1週間以内にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2025春編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2025春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請 ※申請完了を確認してください
選考方法	書類選考：結果通知は 2025年11月21日（金）までに申請時に記入したメール宛に 通知します。 ※当選者には、メールにて参加の意思確認をするので、日常的にメールを確認するようにしてください
説明事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ② 2026年2月19日から2月22日の現地実習は、現地集合・現地解散で、 往復交通費は自己負担 です。＜交通費目安＞東京駅～長浜駅 片道 12,430円（新幹線・在来線） ③ 参加者が現地で負担する費用は、 宿泊費3泊で計22,500円、毎食費の実費、博物館等（2カ所予定）の入館料1,200円 です。 ＜宿泊場所＞まちやの宿いろは 住所：〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町14-21 ④ 現地での移動は、長浜市役所からご支援をいただきます。 ⑤ プログラムを終えて「1単位相当」に認定された人は、長浜市の補助金（最大2万円程度）の対象になります（要領収書） 。詳しくは事前学習、および、現地で説明します。 ⑥ 現地では、長浜市職員と本学教員が引率します。 ⑦ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑧ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑨ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑩ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、11月末～12月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑪ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式 SNS を含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑫ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバル・エデュケーション・センター 准教授 加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

2月19日	木	11:10	長浜駅 集合
		11:30	オリエンテーション
		12:45	黒壁周辺を散策
		17:00	宿泊施設にチェックイン・ふりかえり・夕食
2月20日	金	午前	市民活動団体ヒアリング 北国街道周辺散策
		午後	市民活動団体ヒアリング 市内企業ヒアリング
		17:00	ふりかえり・夕食
2月21日	土	午前	地域づくり活動団体ヒアリング 市内農家ヒアリング
		午後・夜	プレゼンテーション作成
2月22日	日	9:30	成果報告・意見交換会 (プレゼンテーションと講評)
		終了後	現地解散 (参考・長浜駅12時28分)

※天候や訪問先のご都合等によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。